

平成 27 年度第 4 回市民協働推進委員会会議概要

日 時 : 平成 28 年 3 月 27 日 (日) 13:30 ~ 16:30
会 場 : 市役所 1 号館 3 階会議室
出席委員 : 近藤副委員長、田辺委員、寺田委員、岡野委員、釘地委員、宇田川委員、
大木委員
事務局職員 : 坂上市民部長、井岡自治人権推進課長、鴨志田副主幹、小田主査補、尾形主事
傍聴者 : 0 名

議題

- (1) 平成 27 年度地域まちづくり事業の評価について
- (2) 平成 27 年度市民協働事業 (市民提案型) の評価について

事務局 : (資料訂正について説明)

本日は委員長である名和田氏をご欠席のため、佐倉市市民協働の推進に関する条例施行規則第 18 条第 4 項により副委員長である近藤氏が委員長の職務を代理することとなります。

1 . 開会

(省略)

2 . 副委員長あいさつ

副委員長 : 年度末のお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。本日は、委員長がご欠席のため、私が代理として、議事進行を務めさせていただきます。何かと不慣れな点や不行き届きな点があるかと思いますが、皆様のご協力を得ながら、進めてまいりますので、よろしくをお願いします。

3 . 議事

事務局 : 現在、傍聴人はおりませんが、いらっしゃった場合のご対応につきましては、副委員長よりご指示を下される様をお願いします。以後、議事の進行は副委員長をお願いします。

副委員長 : 議事に入る前の確認として、傍聴人の対応については、私が指示をする。本日の会議は 27 年度事業の実績評価となるため公開となる。各事業の評価及び意見調整に当たっては、基本的に改善点を中心に将来につながる意見等をお願いしたい。発言や質問をする際は、挙手をお願いする。本日は委員定数 10 名に対して、委員 7 名の出席があるため、佐倉市市民協働の推進に関する条例施行規則第 18 条第 6 項により、本日の会議は成立となる。

副委員長：議事の進め方については、地域まちづくり事業及び市民協働事業の実績報告の概要を事務局より一括で説明後、事業ごとに意見をもらう形で進めることとする。それでは、事務局より地域まちづくり事業及び市民提案型事業の実績について、1団体4分程度を目安として簡潔に説明をお願いします。

事務局：（各事業の実績について、実績報告書に基づき概要を説明）

副委員長：事業評価に入る前に、10分ほど休憩時間とする。

（休憩）

（1）地域まちづくり事業の評価について

副委員長：これから各地域まちづくり事業及び市民提案型事業について評価を行っていくが、効率的な議事の進行を図るため、1団体あたり5分程度を目安に進めていくこととしたい。5分が経過したら、タイマーでお知らせするので、ご協力をお願いしたい。なお、各事業の詳細については、2月に開催されたまちづくりフォーラムで報告を行っており、また委員の皆様もご承知のことと思うので、この場では将来につながるご意見をお願いしたい。

臼井ふるさとづくり協議会

副委員長：臼井ふるさとづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：20ページの臼井ふるさとウォーキングのその他に「係属したい」とあるが、これは変換ミスではないか。

事務局：正しくは、「継続したい」となる。

委員：22ページの支出について、会場費が予算0円に対して決算が1,650円になっている。会場は臼井小学校となっているが、何に使ったのか。

事務局：会議をうすい荘で行っており、その使用料である。

委員：全部の協議会に共通することだが、収支決算書をもう少し具体的にわかりやすく記載してほしい。例えば、10ページの消耗品費にブルーシートとあるが、いくらの物をいくつ買ったのか詳細を記載してほしい。

事務局：すべての協議会に共通することであるが、主な支出物については、個数などの詳細を記載するようご意見としてお伝えする。

委員：17ページの地域クリーン作戦に、事業内容としてゴミの不法投棄場所を探索しとあるが、次年度以降の見直しには、それが触れられていない。

事務局：不法投棄場所の把握はできていると思うが、マップ化する等の現状把握の方法やマップを踏まえた効率的な作業に努めるようご意見をお伝えする。

委員：土地の所有者との調整や片づける際の諸費用もあると思うが、少しずつ動いていかないと解決しない。まち協でこの活動を続けるのであれば、頑張ってもらいたい。

委員：17ページの事業内容に「町内会だけでは」とあるが、「町内会だけでは」の誤りではないか。

事務局：その通りである。こちらの確認不足で大変申し訳ございません。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

白銀小学校区地域まちづくり協議会

副委員長：白銀小学校区地域まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：9ページの成果に「山桜を麻楽しもう」とあるが、これはどのような意味か。

事務局：記載ミスである。正しくは「山桜を楽しもう」である。

委員：13ページの予定に「委員&地域住民30名」とあるが実績には「16名」と書いてある。すべての事業に言えることだが、これでは委員が16名なのか、地域住民が16名なのかかわからないが、両方を含めた人数でよいのか。

事務局：両方を含めた人数となる。

委員：15ページの7月の実績欄に「20名及び接待3名」とあるが、この接待は何か。

委員：14ページの成果欄に「接待3名の協力を得た」とあるので、そのことを指していると思われる。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

ふるさと弥富を愛する会

副委員長：ふるさと弥富を愛する会についてご意見があれば伺いたい。

委員：8ページの事業目的に「公共交通アクセスは地域課題のひとつであり」との記載があるが、そのことについて取り組むようなことは何も書かれていない。大事なことだと思うが、まち協ならではの取り組みをすることは考えているのか。

事務局：ふるさと弥富を愛する会として、直接この課題に対して何か事業を実施するという計画は聞いていない。

委員：広報紙を発行したことは評価したい。その他の事業についても、以前より前進している印象を受けた。

副委員長：広報紙の他にも弥富村史やガイドマップを発行しており、前向きに活動している様子が伺える。

委員：どんど焼きは他の地域でも実施できる場所が限られてきているが、弥富地区の伝統事業として大切にしてほしい。

委員：どんど焼きは歴史のある行事であるが、まち協が関係している事業であることを広報紙等で地域にもっとアピールしてほしい。

事務局：ご意見としてお伝えする。

委員：まちづくりフォーラムにて、弥富まち協の広報紙を見たが、そこに掲載されていた会長のまち協や地域で活動している様々な団体が緩やかに連携することが大切であるという言葉が印象に残っている。

委員：どんど焼きの参加者500名とあるが、地域の方だけかもしくは外部の方も含めた人数か。

事務局：市外からの参加者も含めた人数である。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

根郷小学校区まちづくり協議会

副委員長：根郷小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：根郷まち協だけに限らず、全体的に目的と内容と成果が一致していない事業が多く見

受けられる。

事務局：項目ごとに整理して記載するようご意見をお伝えする。

委員：事業計画と実績報告で書き方が違うのではないかとされる箇所もある。

事務局：いずれにしても、各協議会に共通する事項であるので、ご意見としてお伝えする。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

しづが原まちづくり協議会

副委員長：しづが原まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：19ページ地域福祉事業の決算書に使用料が予算に計上されていないが、会場使用料として決算に計上されている。自治会館等の使用料だと思うが、予算に想定しなかった理由はあるのか。

事務局：想定しなかった理由については詳細を聞いていない。

委員：17ページの成果に「ほのぼのランチは高齢者と若い世代との連帯意識の醸成、独居高齢者を孤立させない方策」とあるが、このようなイベントに参加する事ができない人の方が孤立しやすい。出られる方だけでなく、出られない方のことも考えていただけると良いと思う。

事務局：出られない独居高齢者が参加しやすくなる工夫を図るようご意見としてお伝えする。

委員：15ページの手作りキャンプは良い事業であると思うが、スケジュールには8月しか記載がない。プログラムの作成等にも中学生は関わっているのか。

事務局：中学生については、サポーターという形で関わっており、基本的には当日の手伝いを中心となる。企画はまち協委員で行っている。

委員：中学生でも十分に企画できる力があると思うので、当日の手伝いだけでなく、中学生が集まれる時間帯を使って、部分的でも良いので企画段階から中学生が関われるようにしてほしい。

事務局：以前にも同様のご意見をいただいたことがあるが、改善されていないので、再度ご意見としてお伝えする。

委員：しづが原だけに限ることではないが、福祉に関することについては、地区社協や自治会と重なる部分がでてくると思う。連携や住み分けを踏まえたうえで、良い方向で事業ができるよう話し合ってもらいたい。

事務局：各団体との連携や役割に関するご意見としてお伝えする。

委員：子ども若者支援事業とあるが、ここでの若者の定義は。

事務局：高校生以上を想定しているが事業は実施していない。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

西志津小学校区まちづくり協議会

副委員長：西志津小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：11ページの事業目的に「多目的広場を中心とした維持管理・環境改善」との記載があり、その下にラジオ体操、グラウンドゴルフとあるが、これは参考として載せてあるのか。

事務局：ラジオ体操とグラウンドゴルフについては、地域住民の健康増進と世代間交流を図ることが目的であり、本来であれば、事業内容に記載すべき内容である。先程、全体にいただいたご意見と同様になるが、項目ごとに整理して記載するようご意見としてお伝えする。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

上志津まちづくり協議会

副委員長：上志津小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：15ページのなかよし太鼓は、まち協ができる前から実施している活動をまち協が引き継いで主体的に行っている事業である。そのことをもっと地域住民に周知した方が良い。

事務局：ご意見としてお伝えする。

委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

上座・ユーカーまちづくり協議会

副委員長：上座・ユーカーまちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

副委員長：ご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

青菅まちづくり協議会

副委員長：青菅まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：8ページの成果(5)に「小中学校や地元和太鼓集団等との交流会は企画の遅れなどから会場の都合がつかず、やむなく中止になった」とあり、12ページでも防災研修が他の事業と日程が重なり「参加希望者少数のため中止」とあるが、計画を立てるメンバーが偏っているのではないか。他の行事予定などは、あらかじめわかることなので、メンバーを幅広く偏らない構成にした方がよい。

事務局：計画の実現性について、ご意見をお伝えする。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

井野小学校区まちづくり協議会

副委員長：井野小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：設立されたばかりであるのでやむを得ない部分はあるが、実績報告書を見ると、まち協と自治会が並列的に記載されている。そうではなく、まち協の中に自治会があるというような書き方ができるよう努力してもらいたい。

事務局：書き方が分かりにくい部分はあるが、防犯事業については、まち協の役員が各自治会の活動を見学したということを表示したかった様である。すべての協議会に共通することであるが、整理して申請書を記載するようお伝えする。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

山王小学校区まちづくり協議会

副委員長：山王小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：18ページに防災グッズを参加者全員に配布とあるが、何を配布したのか。

事務局：カンパンである。

委員：15ページの事業実績の8月に防災講習会を次年度に延期するとあるが、山王自治会

が協力的でないのか、もしくは様々な意見があるのか、地域に声の大きな人がいるのか、事情は分からないが、このような問題はどこでも直面すると思う。難しいことだとは思いますが、時間と共に問題を淘汰していく努力をしていってほしい。

事務局：計画したことを事業として実施できるよう努めてほしい旨のご意見をお伝えする。

委員：7ページの青色パトロールで、太田区が1名決まらなかったとあり、15ページでは太田区での防災講習会が中止とある。この地区との話し合いをきちんとした方が良いのではないか。

委員：予算を執行できていない原因も連携が取れていないからでは。

委員：21ページの高齢者の見守り事業の実績8月欄に「各地区の民生委員をブロック長として、各区の班長に見守り活動の推進を要請」とあるが、他の月には民生委員は入っていない。民生委員は自治会活動を取り仕切るのではなく、別の役割がある。各自治会が活動を取り仕切り、民生委員はそれに協力するという役割の方が良い。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

内郷地区まちづくり協議会

副委員長：内郷地区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

副委員長：ご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

小竹小学校区まちづくり協議会

副委員長：小竹小学校区まちづくり協議会についてご意見があれば伺いたい。

委員：設立初年度でこれだけの活動をできたのは、評価できる。これからもがんばってほしい。

副委員長：他にご意見がなければ、市民協働事業(市民提案型)の評価に移る。

(2) 市民協働事業(市民提案型)の評価について

西志津お囃子友の会

副委員長：西志津お囃子友の会についてご意見があれば伺いたい。

委員：ねぶた囃子の技術を習得するという目的だけでなく、見ている人を一緒に巻き込むという目的もあったと思う。この事業を実施することで、一方的に演奏するだけでなく、一

緒に盛り上がって楽しむという目的はどうなったのか。

事務局：実績報告書には、演奏技術を更に高めるという目的が記載されている。習得した演奏技術を披露することは、この事業の直接的な目的としては掲げられていないようだが、委員会での審査時に技術を習得するだけでなく、イベント等での演奏も考えてほしいというご意見をいただいた。今年度は、臼井でのお祭りや西志津の河津さくら祭りで演奏をしている。

委員：実績報告書にも記載があるが、今年度は臼井のお祭りにも演奏に来ていただいた。今後は、市内のあらゆる地域で演奏する機会を増やして行ってほしい。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

特定非営利活動法人 モチモチの森

副委員長：モチモチの森についてご意見があれば伺いたい。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

長いすの会

副委員長：長いすの会についてご意見があれば伺いたい。

委員：コミュニティカフェに参加された方の感想を知りたい。

事務局：コミュニティカフェは4回実施し、毎回参加者にアンケートを取っている。第1回は20名から回答があり、19名がとても楽しかったと回答している。第2回は9名から回答があり、全員がとても楽しかったと回答している。第3回は16名から回答があり、全員がとても楽しかったと回答している。第4回は14名から回答があり、13名がとても楽しかったと回答している。

委員：参加している方は毎回違うのか。

事務局：志津公民館、臼井公民館、西部地域保健センターと3つの会場で開催しており、一部重なっている部分はあると思うが、臼井から志津と地区が大きく異なるので利用者も異なっているのではないかと推察される。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

ベコちゃん

副委員長：ベコちゃんについてご意見があれば伺いたい。

委員：イベント等でのごはん類の提供が衛生関係上、難しくなっているが、今後の事業展開はどう考えているのか。

事務局：保健所の指導によりイベントでのごはん類の提供ができなくなったため、途中からまぜそばの提供を始めた。自分たちで作るというよりは、委員会からご意見をいただいたとおり、佐倉井を広めていくことを重点にした事業を行っている。

委員：協力店舗を増やしていくためにも、プレゼンを今後どのようにしていくのか。

事務局：歴博については、市も交渉に同席し、調整を行った。3店舗の他にも交渉中の店舗がいくつかあり、市も必要に応じて交渉に同席し、広めていきたいと考えている。

委員：イベントでの提供ができないということであれば、広めていくためには協力してくれるお店を増やしていくしかないと思う。来年度は、自分たちで提供するという内容の申請はなくなるのか。

事務局：自分たちが主体的にイベントに出向いて提供するというよりは、協力店舗を増やしていくという方針で28年度も申請するものと思われる。

委員：3ページのスケジュールの7, 8, 9, 12, 1, 2月だが、場所・対象者・人数欄に実績の記載がない。

事務局：記載漏れと思われる。

委員：計画の段階では、佐倉井と佐倉とんすこうが記載されており、実績では、佐倉井弁当と佐倉まぜそばが追加されている。あらかじめわかっているのであれば、計画段階から記載してほしい。

事務局：保健所から連絡をいただいたのが、計画を作成した後であったため、記載ができなかったと思われる。

副委員長：他にご意見がなければ、次の事業の評価に移る。

草笛&リーフル「ハッピー・はっば」

副委員長：ハッピーはっばについてご意見があれば伺いたい。

委員：3ページの実績への記載の仕方だが、計画では草ぶえの丘研修棟とあり、実績では芝生広場とある。研修棟も芝生広場も同じような位置付けという認識でよいのか。

事務局：申請時は草ぶえの丘の研修棟で草笛の塾を開催することを目的としていたが、塾自体には人が集まらなかった。目的と手段が申請時とは異なっている。

副委員長：確かに申請時とは、内容が大きく変わっている。

事務局：草ぶえの丘と連携して草笛の普及を行う意義はあると思うが、担い手の育成にはつなげていないという点からするとご指摘のとおりである。

委員：呼びかけはどのようにやっていたのか。

事務局：チラシを公共施設や自治会等に配布し、募集を行った。草笛のニーズが少ないこともあり、効果が表れにくかったと思われるが、指定管理者からは草ぶえの丘を盛り上げていただき感謝しているとのことであった。28年度も草ぶえの丘と協力して事業を行っていく予定であるとお聞きしている。

委員：3ページのスケジュール1月に障がい者公開レッスンとあるが、これはどのようなものか。

事務局：福祉施設への慰問を行っており、その方たちを招いて草笛のレッスンを行っているものと思われる。

副委員長：296でも取り上げられていたが、良いイメージを持った。他にご意見がなければ、ハッピーはっぱの事業評価は終了とする。全体を通してご意見があれば伺いたい。

委員：防災事業については、視察だけではなく、住民のための事業を行ってほしい。例えば、白銀は住民のための事業を多く実施しており、臼井も毎月小学生が関係する事業を行っている。もっとまち協ごとに特色を出しても良いと思う。書類の書き方についても回を重ねないと、精度は上がらないと思う。

事務局：地域によって、事業の方向性や必要性は異なってくるが部分はあるが、ご意見を伝える。

委員：先行するまち協に話を聞きにしている所もあるので、他のまち協のノウハウを伝えていく機会も必要ではないか。年に1度のまちづくりフォーラムでは、伝わりづらいと思う。まち協の数が増えてきて発表時間も少なくなっている。もっと詳しく聞きたいこともあ

と思うので、情報交換のような機会があっても良いのではないかと。

副委員長：情報交換ができるようなイベントがあれば、良いのではないかと。

副委員長：他にご意見がなければ平成27年度市民協働事業の意見調整及び評価はこれで終了とする。当委員会からの意見具申については、委員の皆さんからいただいた意見を基に、事務局にまとめて頂いたものをこちらで確認し、それを委員会の意見として市長へ報告する。また、各団体に対する意見については、事務局でまとめていただき、各事業実施団体に伝えていただきたい。最後に今回の議事録署名人は岡野委員にお願いしたい。

4．その他

- ・次回会議の予定

28年度第1回市民協働推進委員会の開催日は、4月10日(日)13時30分開始を予定している。議題は平成28年度地域まちづくり事業の審議となる。

- ・委員報酬について

本日の委員報酬及び費用弁償については、4月中旬のお支払いを予定している。

5．閉会

副委員長：以上で本日の委員会は終了となる。

平成28年4月21日(木)

委員長	名和田 是彦
副委員長	近藤 維久子
議事録署名人	岡野 敦